

# 令和2年度 学校評価(自己評価)【1学期】

作成：令和2年10月22日  
(小60) 鹿児島市立東谷山小学校

## 1 学校の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力の確実な定着と学ぶ喜びや楽しさを味わう授業の推進 (「東谷山小授業のスタンダード」に基づく質の高い学びの実践)</li> <li>○ 一人一人の「よさ」を認め、高め合う生徒指導の推進 (一校一改革「5あ活動を5あ自慢に」の具体的な実践, いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応)</li> <li>○ 健康管理の徹底と児童が自ら運動に取り組む指導法の改善 (むし歯治療率80%, 新型コロナウイルス感染症予防対策, 一校一運動「ヒガタニサスケ」の充実)</li> </ul>
---

## 2 課題と改善策

※ポイントは4段階評価の平均値

評価項目と評価結果の要点(職員)	改善の方策
<p>&lt;①特色を生かした教育の創造&gt; <b>3. 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学期分の授業時数の確保が質・量ともに予定通りなされた。</li> <li>△ 地域素材の教材化, 人材活用, 体験活動等の効果的な編成, 実施はもう少しであった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対応があるが, 計画通りの授業ができるよう, 今後も予定の授業時数確保, 同時に業務改善を図りながら, ゆとりある教材研究の時間確保に努める。</li> <li>・ 学校支援ボランティアコーディネーターから, 職員に対して呼びかけや広報紙を配布していただいている。今後も効果的な活用例等を紹介していく。</li> </ul>
<p>&lt;②学力の向上&gt; <b>2. 9</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容の定着・補充を図れるよう家庭学習の課題の出し方を工夫している。</li> <li>△ 学力検査等の結果をもとにした授業改善はまだ不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習は, 学年で共通課題を意図的・計画的に出し, 見届けを行っている。</li> <li>・ 夏季休業中(学校評価後)にNRTの分析を行い, 各学年の実態に基づき「補充できる単元・題材」の共同研究を実施した。2学期以降の授業改善・個別指導を行い, アンダーアチーバーの解消に努める。</li> </ul>
<p>&lt;③特別支援教育の充実&gt; <b>2. 9</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内支援体制の整備充実は図られてきている。</li> <li>△ 保護者・地域への啓発活動が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターを中心に校内支援体制が整っている。特別支援教育校内委員会では就学相談が必要な児童の経過・検討等の共通理解を図っている。</li> <li>・ 昨年度, 新一年保護者に特別支援教育の説明を実施した。本年度はコロナ渦で難しいが, 今後, 外部講師による発達障害に関する講演を行うなどして, 啓発を進めていきたい。</li> </ul>
<p>&lt;④道徳教育の充実・感性を育む&gt; <b>3. 0</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめや不登校, 問題行動の早期発見・早期対応ができています。</li> <li>△ 「5あ活動」(あいさつ・あつまり・あるきかたあそび・あとしまつ)の学年に応じた具体的な取組がまだ不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回の「いじめについて考える日」の取組(全校放送, アンケート等)や不登校, 問題行動についてチームによる対応, 関係機関との連携を図っている。</li> <li>・ 2学期の重点取組として, 「先手あいさつ」に取り組んでいる。自己申告書に5あ活動の一事徹底事項を明記し, 取り組ませている。</li> </ul>
<p>&lt;⑤人権感覚を磨く&gt; <b>3. 0</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いじめについて考える日」や「人権旬間」等の取組の充実が図られた。</li> <li>△ 人権教育に関わる家庭・地域への広報及び連携がもう少しである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全児童で人権標語づくり, アンケートの実施など, 取組の充実が図られている。</li> <li>・ 学校だより5月号で校内人権旬間の取組内容や児童の日記を紹介した。2回目の取組についても広報に努める。新型コロナウイルス感染症に関する差別問題について, プリントを配布し連携を図っている。</li> </ul>
<p>&lt;⑥健康教育の充実&gt; <b>2. 9</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の健康状況の把握はできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として, 検温カードの活用を図っている。今後も家庭と連携した</li> </ul>

<p>△ 児童が自ら運動に取り組む指導法の改善を図る必要がある。</p>	<p>新しい生活様式の習慣化を図っていく。          ・ 一校一運動「ヒガタニサスケ」（固定運動施設の活用）を授業の導入等で可能な時に取り入れていく。</p>
<p>&lt;⑦安全安心の徹底&gt; <b>2. 8</b></p> <p>○ 安全点検や安全に関わる訓練等は充実し、安全対策は概ね図られている。</p> <p>△ 児童の危険予知能力の育成が不十分である。</p>	<p>・ 月1回の安全点検の実施→実施後の確認→修繕計画・依頼→修繕作業のサイクルを継続することで、安全管理を徹底している。</p> <p>・ 生徒指導共通理解事項を作成し、共通指導を行っているが、決まりを守れば防げるはずの怪我が多い。委員会活動等で児童に取組を考えさせることで、気を付けていこうとする意識を高めさせていく。</p>
<p>&lt;⑧自覚ある信頼される教師&gt; <b>3. 1</b></p> <p>○ 勤務に関する研修や指導は概ね充実している。</p> <p>△ 業務改善を意識した取組は、今後も継続していく。</p>	<p>・ 「不祥事根絶をめざして」を使用し、個人情報の取り扱い、交通法規の順守について、ケーススタディを行った。</p> <p>・ 「業務改善チャレンジ8」を年度当初に提示し、一人一改善について面談で確認している。業務改善については、自らの改善を意識するとともに、放課後の時間を確保するための工夫を図る。</p>
<p>&lt;⑨開かれた学校&gt; <b>2. 9</b></p> <p>○ 学校評議員、校区コミュニティ協議会、あいご会、民生委員、学校支援ボランティア等との連携はよく図られている。</p> <p>△ 地域行事等への参加協力を呼びかける。</p>	<p>・ 校長室だより、学校だより6月号で学校評議員会の報告をした。今後も関係団体と情報を共有し、連携・協力していくことが大切である。</p> <p>・ 本年度は行事がほとんど中止となっているが、学校は地域のコミュニティセンターとして協力していきたい。</p>

### 3 次学期に向けての取組

#### (1) 基礎学力の確かな定着

- ☆ 人の話を最後まで聞いて、理解させる。
- ☆ 知識・技能を活用し、じっくり考えたり、考えをノートにまとめ、意見交換させたりする。
- ☆ 教材研究を充実し、「考え、議論する道徳」を意識した授業を展開する。
- ☆ 特別支援教育についての児童・保護者・地域への啓発活動を推進する。

#### (2) 落ち着いた生活態度の育成

- ☆ 発達段階に応じた読書量を確保する。
- ◇ “たっぷり100冊、じっくり50冊”
- ☆ 「5あ活動を5あ自慢に！」（一校一改革）を学年・学級に応じて確実に実践する。

- ☆ 言葉遣いに注意する。⇒呼び捨てにしない。

#### (3) 健康で安全な生活の推進

- ☆ 運動の楽しさを味わわせる活動を展開する。
- ☆ 危険予知能力の育成を図る。
- ☆ 歩育500m(現在89.4%) ⇒95%以上
- ☆ むし歯の治療率(現在65.7%) ⇒80%以上
- ☆ ヘルメットの着用率(現在92.0%) ⇒100%